

決 算 の 概 要

一般会計

(決算規模)

令和元年度一般会計歳入歳出決算額（繰越事業費を含む）は、歳入216億4,005万円、歳出206億6,848万2千円となり、平成30年度に比べ歳入で11億804万1千円（4.9%）の減、歳出で10億4,346万6千円（4.8%）の減となりました。

(決算収支)

令和元年度一般会計の歳入歳出差引額は9億7,156万8千円で、このうち翌年度へ繰越すべき財源（繰越明許費繰越額）1億8,776万5千円を控除した実質収支額は、7億8,380万3千円となりました。

特別会計

特別会計の歳入歳出決算額は、次のとおりとなりました。

(単位：千円)

会 計 名	歳 入	歳 出	歳入歳出差引
国民健康保険特別会計	6,424,526	6,361,627	62,899
後期高齢者医療特別会計	485,896	483,494	2,402
介護保険特別会計	4,112,060	4,032,290	79,770
介護事業特別会計	3,103	2,477	626
公共下水道事業特別会計	1,600,228	1,459,916	140,312
農業集落排水事業特別会計	338,767	332,707	6,060
工業団地整備事業特別会計	1,745,423	1,745,423	0
合 計	14,710,003	14,417,934	292,069

会計別決算総括表

(単位：千円、%)

会計別	区分	予算現額	決算額	予算額に対する 決算額の比較	予算額に対する 決算額の比率
一般会計	歳入	23,532,936	21,640,050	△1,892,886	92.0
	歳出	23,532,936	20,668,482	△2,864,454	87.8
	歳入歳出差引	—	971,568	繰越明許費繰越額	187,765
				翌年度純繰越額	783,803
国民健康保険 特別会計	歳入	6,586,213	6,424,526	△161,687	97.5
	歳出	6,586,213	6,361,627	△224,586	96.6
	歳入歳出差引	—	62,899	翌年度純繰越額	62,899
後期高齢者 医療特別会計	歳入	493,436	485,896	△7,540	98.5
	歳出	493,436	483,494	△9,942	98.0
	歳入歳出差引	—	2,402	翌年度純繰越額	2,402
介護保険 特別会計	歳入	4,139,535	4,112,060	△27,475	99.3
	歳出	4,139,535	4,032,290	△107,245	97.4
	歳入歳出差引	—	79,770	翌年度純繰越額	79,770
介護事業 特別会計	歳入	2,710	3,103	393	114.5
	歳出	2,710	2,477	△233	91.4
	歳入歳出差引	—	626	翌年度純繰越額	626
公共下水道 事業特別会計	歳入	1,607,924	1,600,228	△7,696	99.5
	歳出	1,607,924	1,459,916	△148,008	90.8
	歳入歳出差引	—	140,312	繰越明許費繰越額	3,798
				翌年度純繰越額	136,514
農業集落排水 事業特別会計	歳入	341,266	338,767	△2,499	99.3
	歳出	341,266	332,707	△8,559	97.5
	歳入歳出差引	—	6,060	繰越明許費繰越額	862
				翌年度純繰越額	5,198
工業団地整備 事業特別会計	歳入	2,263,590	1,745,423	△518,167	77.1
	歳出	2,263,590	1,745,423	△518,167	77.1
	歳入歳出差引	—	0	翌年度純繰越額	0
合計	歳入	38,967,610	36,350,053	△2,617,557	93.3
	歳出	38,967,610	35,086,416	△3,881,194	90.0
	歳入歳出差引	—	1,263,637	繰越明許費繰越額	192,425
				翌年度純繰越額	1,071,212

なお、公共下水道事業特別会計における歳入歳出差引額は、地方公営企業法が適用されたことに伴い、同法の規定による坂東市下水道事業会計へ引き継いだ。